

あなたの大切な赤ちゃんを  
乳幼児突然死症候群(SIDS)  
でなくさないための  
3つのお願いです。

SIDS対策  
強化月間

1

「うつぶせ寝」にしないで

「うつぶせ寝の方がSIDSの危険性が高まる」という研究結果がでています。医学上の理由で必要なとき以外はあおむけに寝かせ、赤ちゃんが眠ったあともよく気をつけてあげてください。

2

「たばこ」は吸わないで

「両親ともに喫煙者の場合SIDSの発症率が高い」というデータがあります。妊婦さん自身の喫煙はもちろん、赤ちゃんのそばでの喫煙は避けましょう。身近な人にも禁煙をお願いしてください。

3

授乳はできるだけ「母乳」で

「母乳で育てられた乳児はSIDSの危険性が低い」といわれています。人工乳が直接SIDSを引き起こすことはありませんが、できる限りお母さんの母乳で育てることをおすすめします。

乳幼児突然死症候群(SIDS)とは・・・

元気ですくすく育っていた赤ちゃんが、眠っている間に突然亡くなる病気のことで、いまのところ原因はわかっていません。日本では4,000人に1人の割合で起こるといわれ、生後2ヵ月から6ヵ月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。